

2 - 3 現五箇年計画の推計値と実績値の比較

(1) 現五箇年計画の推計値と実績値の比較 (2000年で比較)

現五箇年計画推計値と実績値(2000年)は、以下の通りとなる。2000年における実績値は、推計値と比較して乗用車で1.1%大きく、貨物車で6.5%小さく、全車で1.5%小さくなっている。

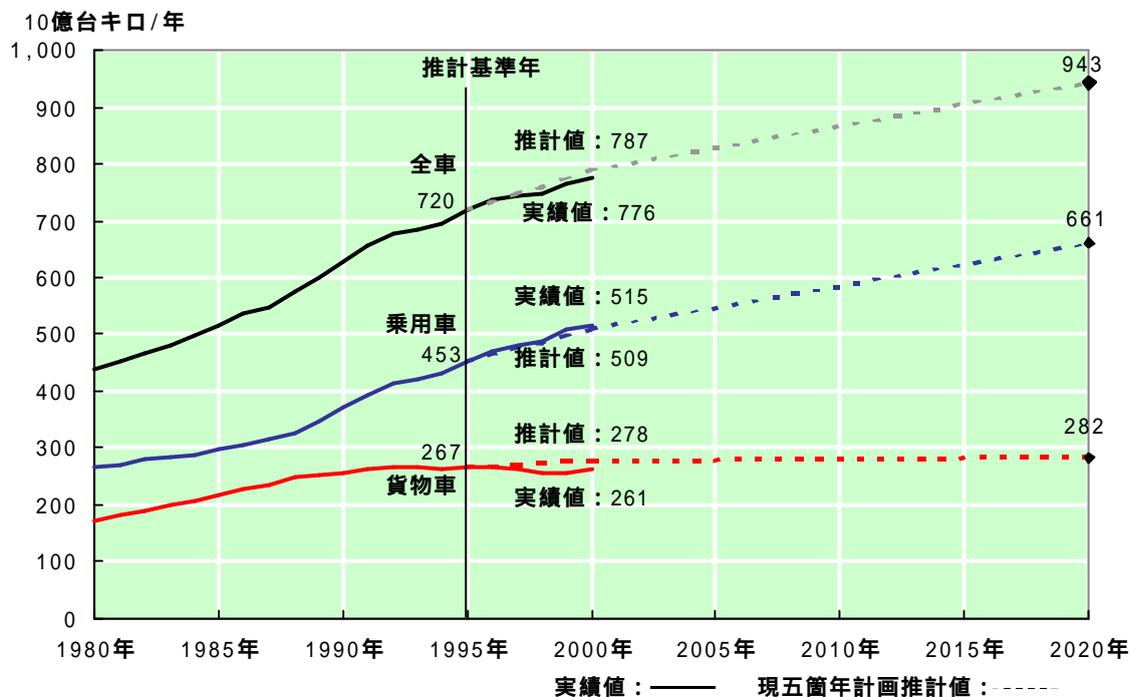


図 現五箇年計画推計値と実績値との比較

表 現五箇年計画推計値と実績値との比較 (2000年)

	走行台キロ (10億台キロ/年)			
	推計値 (A)	実績値 (B)	誤差 (C = B - A)	誤差率 (C / B)
乗用車	509	515	6	1.1%
貨物車	278	261	17	6.5%
軽貨物車	84	75	10	12.8%
軽貨物車以外	193	186	7	4.0%
全車	787	776	11	1.5%

出典：実績値 「陸運統計要覧」

(2) 推計値と実績値の乖離に関する要因分析

旅客推計

1人当たりトリップ数と1台当たり平均輸送人数の推計値が、それぞれ5%以上乖離している。その結果、乗用車走行台キロの推計値は、実績値と1.1%乖離している。

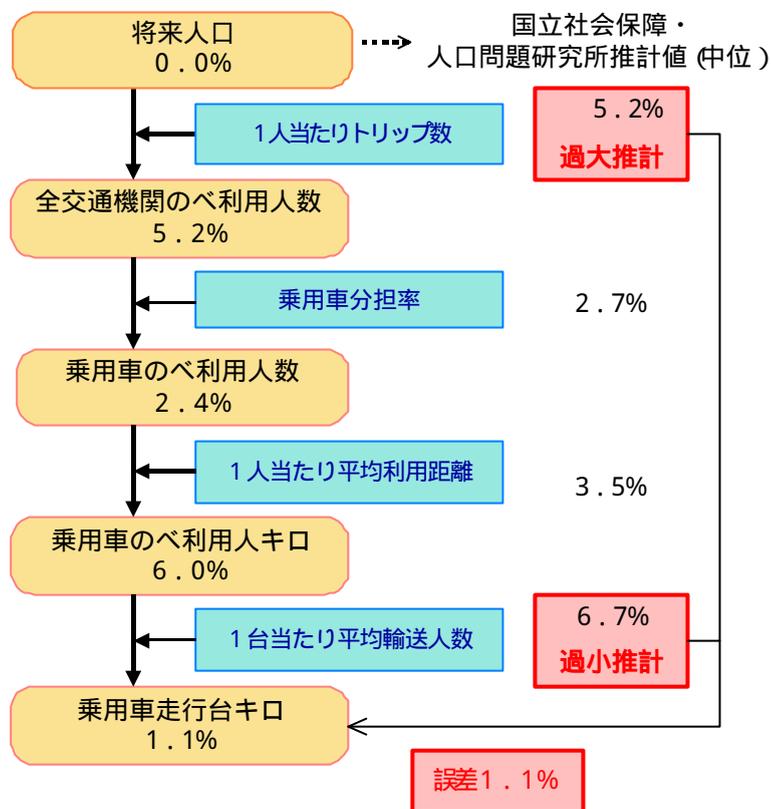


図 現五箇年計画の各段階における推計の誤差率 (旅客)

注1) 現五箇年計画の推計値と実績値の乖離の要因を今回の推計モデルの手順にあわせて示した。

貨物推計

貨物車の推計においては、将来GDPが実績値と8%程度乖離し最も大きい。また、平均輸送距離、平均輸送トン数で実績値と2～5%程度乖離し、その結果貨物車走行台キロ（軽貨物車除く）は4.0%減の乖離となる。また、軽貨物車は12.5%乖離しており、その結果、貨物車走行台キロ推計値は実績値と比べて6.5%減の乖離となる。

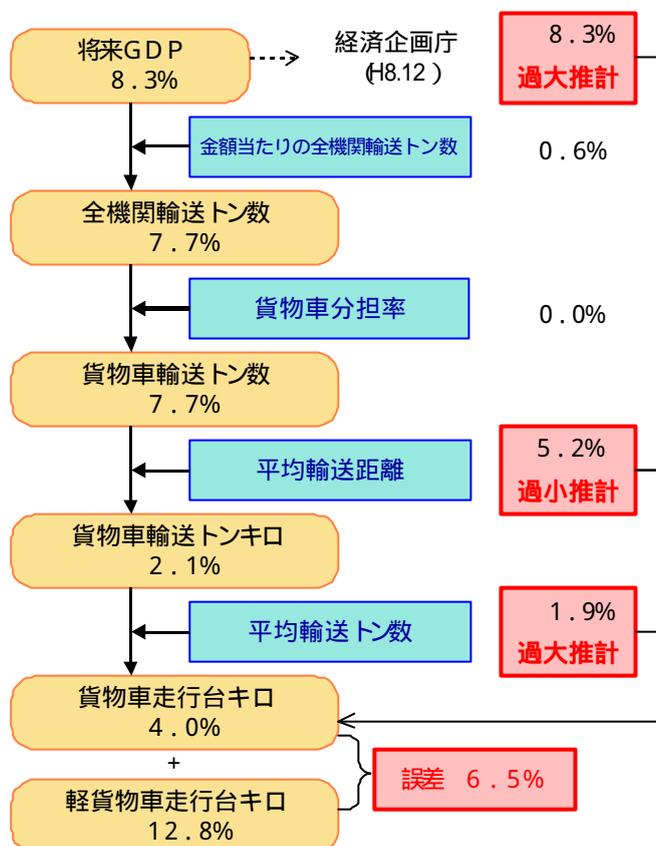


図 現五箇年計画の各段階における推計の誤差率（貨物）

注1) GDPの誤差率は、現五箇年計画策定時の63SNA体系に基づくGDP（平成2年価格基準）により算定している。

注2) 現五箇年計画の推計値と実績値の乖離の要因を今回の推計モデルの手順にあわせて示した。